

# 令和4年度 第26回 大学院セミナー

令和4年9月5日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	歯科補綴学 分野 責任者名(村田比呂司) 内線(7690)
演題 Title	ライフステージに合わせた補綴歯科治療の役割—介護予防, フレイル予防から, 要介護高齢者の食支援まで—
講師等 Presenter	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野 教授 窪木拓男 先生
概要 Abstract	<p>我々歯科医は補綴歯科治療を毎日患者に施しているが, その治療がどのような効果を患者に及ぼしているのかは十分認識していない. たとえば, 中高年から要支援・要介護認定に至る時期では, 補綴歯科治療の主眼は介護予防, フレイル予防, 認知症予防であり, 歯列欠損の修復治療による口腔機能の維持は多様な食物や栄養素を摂取するという観点から重要な意味があるだろう. 一方, 日常生活動作がまだまだ保たれている要支援・要介護高齢者においては, 歯列欠損の修復処置に加えて, 機能訓練としての広義の摂食嚥下リハビリテーションが重要な意味を持つことになる. また, 日常生活動作が低下した要介護高齢者においては, 食環境の調整や各種補助栄養の導入, 本人や家族の死生観に対する意思確認が必要な場合が出てくる. このような概念のもと, 我々は, 要介護高齢者の食支援のあり方について, ミールラウンドに基づく多職種連携カンファレンスを長年実施している(窪木ら. 口腔科学会雑誌, 68(4):268-272, 2019; 参考). その経験を含めて発表させて頂きたい.</p> <p>参考: 死生学とアドバンスドケアプランニングを取り入れた要介護高齢者の尊厳を最期まで守る多職種連携口腔栄養関連サービス推進事業 ホームページ <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/food/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/food/</a></p>
開催日時 Date and Time	令和4年9月16日(金) 17:15 ~ 19:15
開催方法 Online/Face to face	開催場所: 会議室2C (旧歯学部C棟)
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)